

バッテリー内蔵 + DVDプレーヤー内蔵

ポータブルテレビ

取扱説明書

GH-PDTV14Aシリーズ

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管してください。

設置の手順

製品構成を確認します。

(1 ページ)



本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」、「使用上のお願い」、「各部のなまえ」をよく読みます。

(3 ~ 23 ページ)



準備を行います。

(24 ~ 31 ページ)



本製品の電源をオンにします。

(28 ページ)

製品構成の確認

パッケージの中に下記のものが入っているかどうかご確認ください。

●製品本体	1台
●専用リモコン(テスト用CR2025電池取り付け済)	1個
●専用AVケーブル(約120cm)	1本
●専用ACアダプタ(約140cm)	1個
●専用シガーソケットアダプタ(約150cm)	1個
●専用スタンド	2個
●スタンド固定用ネジ	2個
●専用イヤホン	1個
●専用ロッドアンテナ(約300cm)	1本
●地上デジタル専用mini B-CASカード	1枚
●取扱説明書(本書)	1部
●保証書	1枚

●付属のリモコン用電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

目次

はじめに	1
設置の手順	1
製品構成の確認	1
安全上のご注意	3
安全に正しくご使用いただくために	3
使用上のお願い	12
未永くお使いいただくために	12
ディスクについて	15
使用できるディスク	15
ディスクに表示されているマークについて	17
リージョンコード（地域番号）	18
著作権について	18
ディスクの内容の区分	19
各部のなまえ	20
各部名称	20
準備	24
ハンドルを使う	24
スタンドを使う	25
ディスクトレイカバーを開く	26
専用 AC アダプタ接続	27
リモコンを準備する	28
電源操作	28
動作モードを切り替える	29
接続方法	30
テレビ視聴（地上デジタル放送とワンセグ放送）	32
視聴準備	32
地上デジタル放送 / ワンセグ放送を視聴する	36
地上デジタル放送 / ワンセグ放送を録画する	41
再生（基本編）	51
ディスクを再生する（基本編）	51
再生（応用編）	54
ディスクを再生する（応用編）	54
再生（便利な再生機能編）	56
ディスクを再生する（便利な再生機能編）	56
データディスク	59
ファイルメニューの操作	59
DVD の映像をテレビに出力する	61
メディアプレイヤーを使用する	62
使用できる外部メモリー	62
外部メモリーを取り付ける	62
外部メモリー内のファイルを再生する	63
ヘッドホンを使用する	68
本体設定	69
TV 設定メニューの操作	69
DVD 設定メニューの操作	70
本体設定メニューの操作	73
トラブルシューティング	76
故障かな？と思ったら	76
その他	80
仕様	80
故障について	81

安全上のご注意

安全に正しくご使用いただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みにになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

 **危険** この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示



この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)



危険

異常が発生した場合



コンセントから
プラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、AC アダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源スイッチを切り、AC アダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、AC アダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、AC アダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源スイッチを切り、AC アダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。



警告 使用について



禁止

AC アダプタは、必ず付属の専用品を使用してください。
火災や感電の危険があります。



禁止

AC アダプタは、水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



禁止

業務用途としては使用しないでください。
長時間のご使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険がありますので、業務用途でご使用の際は、事前に、弊社 (03-5421-2255) までご相談ください。



警告 電源について



AC100V以外
使用禁止

ACアダプタのプラグは、100ボルト交流電源(AC100V)コンセントにしっかり差し込んで使用してください。
日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



DC12V以外
使用禁止

シガーソケットアダプタは、自動車（マイナスアース車に限る）用12ボルト直流電源（DC12V）のシガーソケットにしっかり差し込んで使用してください。
自動車用12ボルト直流電源以外でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



エンジン始動後
接続

シガーソケットアダプタは、エンジン始動後に接続してください。
エンジン始動時、瞬間的に発生する可能性のある高電圧や大電流（サージ電流）により、故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



警告 電源について



定期的に
プラグを掃除

AC アダプタのプラグは、定期的に掃除を行ってください。

AC アダプタのプラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に AC アダプタのプラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

ACアダプタのプラグのお手入れは、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外して行ってください。

ACアダプタのプラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



定格超過禁止

コンセントや延長ケーブル、OA タップなどの定格を超えて使用しないでください。
タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。



コード傷つけ禁止

AC アダプタやシガーソケットアダプタのコードは、傷つけないでください。
ものをのせたり、引っばったり、ねじったりなど、無理に取り扱うとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。



破損コード
使用禁止

AC アダプタやシガーソケットアダプタのコードに傷や裂け、割れ、ちぎれなど破損がある場合は、ご使用にならないでください。

破損した AC アダプタやシガーソケットアダプタから発熱や放電することにより、火災や感電の危険があります。



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、AC アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の危険があります。



濡れた手で
触れない

濡れた手で AC アダプタのプラグやコンセントに触れないでください。
感電の危険があります。



破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントを使用しないでください。

コンセントに AC アダプタのプラグをしっかりと差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。



コード引っ張り
禁止

AC アダプタのプラグをコンセントに抜き挿しする場合、プラグ部を持ってください。
コードを引っばると、AC アダプタのプラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



転用禁止

付属の AC アダプタやシガーソケットアダプタの出力は 12V 専用です。本製品以外の USB 機器に使用すると、火災や感電の危険があります。



警告 設置について



不安定な場所に
置かない

不安定な場所に置かないでください。

不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。

熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

湿度の高いところに置かないでください。

火災や感電の危険があります。



水濡れ
禁止

水のかかる場所に置かないでください。

雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。

ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。



禁止

通気口をふさがないでください。

通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。



禁止

運転者の視界や運転操作の妨げになる場所、運転装置に触れる場所に取り付けしないでください。

事故の危険があります。



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所や、チャイルドシートやジュニアシートの正面には取り付けしないでください。

感電やケガの危険があります。



警告 使用について



分解や改造
禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ際は、無理に取り扱わないでください。



禁止

子供だけで使用したり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
感電やケガの危険があります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取扱説明書の内容にもとづいた指導監督を行ってください。
感電やケガの危険があります。



禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。



禁止

破損や変形、補修したディスクは使用しないでください。
ディスクは製品内で高速に回転しますので、ケガをする危険があります。また、回転中のディスクには触れないでください。



禁止

リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。
また、運転中は製品を使用しないでください。事故の危険があります。



禁止

目的外の使用はしないでください。
火災や感電の危険があります。



警告 使用について



禁止

運転中は使用しないでください。
事故の危険があります。



注意

航空機内での使用は、航空会社の指示に従ってください。
事故の危険があります。



警告 電池について



指定外の電池
使用禁止

指定の電池を使用してください。

指定外の電池や種類の違う電池、未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、プラス(+)、マイナス(-)の極性に注意してください。



電池を
取り外して

長時間使用しないときは、電池を取り外してください。

使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を加熱したり、加圧したりしないでください。

破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を傷つけたり、分解したり、水や火の中に入れてください。

破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。



禁止

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、電池を取り出せないようにしてください。

誤飲や窒息の危険があります。



禁止

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流してください。

皮膚障害の危険があります。



禁止

電池の液が目に入ったら、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流し、医師の診察をうけてください。

視力が損なわれたり、失明の危険があります。

注意 使用について



コンセントから
プラグを抜く

長期間使用しないときは、AC アダプタのプラグを抜いてください。
電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。



適度な音量で
使用する

適度な音量で使用してください。
音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。



適度な音量で
使用する

イヤホンは、適度な音量で使用してください。
耳を刺激するような大音量で長時間連続ご使用になると、聴力が損なわれる可能性があります。また、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では、ご使用にならないでください。



ピックアップ
レンズを見ない

ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないでください。
レーザー光を見続けることにより、視力が損なわれる可能性があります。



禁止

外部メモリーを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤飲や窒息の危険があります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

- 製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
- 製品を移動する際は、外部メモリーを取り出し、電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。
- 電源を入れたまま、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外さないでください。
- 視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
- 疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
- 映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
- 大音量で長時間連続で使用すると、聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
- 運転中や歩行中など、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では使用しないでください。
- 耳に異常を感じる場合は、使用しないでください。
- 本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品：| LCD | ACアダプタ | 内蔵バッテリー | ディスクドライブ | ピックアップユニット部)

製品のお手入れについて

- お手入れの際は、電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。
- 汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
- ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
- ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
- シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。

製品の温度について

- 密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
- 製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。

結露 (つゆつき) について

- 温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- 結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
- 結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
- 寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

- 磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
- 電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
- 磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

- 使用後は節電のため、電源を切ってください。
- 長く使用しない場合、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
- 取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

外部メモリーの取り扱いについて

- 外部メモリーに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能な外部メモリーであっても、再生できない場合があります。
- 保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
- 端子部に、ゴミやホコリといった異物を付着させないでください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、コネクタに抜き差しできなくなったり、コネクタを破損させる可能性があります。

データについて

- 対応する再生可能なファイル形式であっても、再生できない場合があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
- 大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
- データの管理は、お客様の責任において行ってください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能なディスクであっても、再生できない場合があります。
- レコーダーやパソコンなどで録画した DVD ディスクを再生する場合、録画したレコーダーやパソコンでファイナライズを実行する必要があります。
- レコーダーやパソコンなどによってDVDディスクのファイナライズを実行しても、再生できない場合があります。
- ディスクに指紋やホコリなど汚れが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となります。
- 保管する際は、専用ケースに入れ、温度や湿度の高いところ、直射日光の当たるところを避けてください。
- 信号面（光っている面）には手を触れないでください。
- ディスクの汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってから、内側から外側へふき取ってください。
- ひどい汚れは、市販のディスククリーナーを使用してください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、ディスクに反りが起こり、使用できなくなる可能性があります。
- 印刷面に文字などを書き込む場合、硬いものは使用せず、やわらかいフェルトペンなどを使用してください。
- 正円形のディスクを使用し、それ以外の形のディスクは使用しないでください。
- 本体の傾きや振動によりディスクにキズが付く可能性がありますので、ディスクの再生時は本体を安定した場所に設置してください。

自動車内での使用について

- リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。
- 運転中の運転者は製品を使用しないでください。
- 運転者の視界を妨げる場所や運転操作の妨げになる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、運転装置に触れる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、エアバッグの動作を妨げる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、アクティブヘッドレストの動作を妨げる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、チャイルドシートやジュニアシートの正面には取り付けしないでください。
- 取り付け具が緩んだ場合、直ちに増し締めを行ってください。
- ひっぱったり、ぶらさがったり、強い力を加えないでください。
- バケットシートなどのヘッドレスト一体型シートに取り付けることはできません。
- ヘッドレストやシートに取り付け跡が残る場合があります。
- 使用後は、製品や付属品を取り外し、車内から持ち出してください。
- 車検時、検査官の判断により、取り付けたままでは合格しない場合がありますので、事前に取り外してください。
- 目的外の使用はしないでください。
- 目的外の使用や誤使用、改造などにより事故が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

免責事項

- 取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 運転中の製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

ディスクについて

使用できるディスク

下記のマークはディスクラベル、パッケージ、またはジャケットに記載されています。

ディスク	マーク	内容
DVD ディスク		・ 12cm / 8cm ・ リージョンコードが 2 および ALL ・ 映像方式：NTSC
DVD-R/RW DVD-R DL	 	・ 12cm / 8cm
DVD+R/RW DVD+R DL	 	・ 12cm / 8cm
CD		・ 12cm / 8cm
CD-R CD-RW		・ 12cm / 8cm

●ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

- 本製品は、日本のテレビ方式 (NTSC) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
- 市販されている DVD ディスクによっては再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

- リージョンコードが「2」や「ALL」以外の DVD ディスク。
- DVD オーディオ、SACD、DVD-RAM など、使用できるディスクに記載のない規格のもの。
- フォト CD、CD-G、CD-EXTRA のデータなど。

記録型ディスクの再生について

- 本製品が対応している記録型ディスクであっても、データの記録状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクを再生することはできません。
また、レコーダーやパソコンによって、ファイナライズを実行しても本製品で再生できない場合があります。

著作権保護機能 (CPRM) のついたディスクの再生について

- 著作権保護機能「CPRM」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本製品は CPRM の VR モード再生に対応していますが、記録状態によっては再生できない場合があります。
- ディスクの種類や録画番組によっては、再生開始までのディスク読み込みに時間がかかる場合があります。

コピーコントロール機能のついたオーディオCDの再生について

- コピーコントロール機能のついた CDの中には、CD規格に合致していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

再生するときの制約

- 本取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。
DVDディスクは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあるため、操作したとおりに動作しないことがあります。
- ボタン操作中にテレビ画面に  と表示されることがあります。 と表示されたときは、本製品がディスクがその操作に対応しておりません。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクラベルやパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例

内容



記録されている音声の数を示します。
(左の例は、日本語、英語などのような2種類の音声が収録されています)



記録されている字幕の数を示します。
(左の例は、日本語、英語などのような2種類の字幕が収録されています)



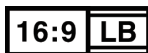
記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。
(左の例は、3種類の角度で収録されています)



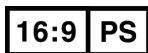
横：縦＝4：3の標準サイズで記録されていることを示します。



レターボックス（横：縦＝4：3で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。



横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。



横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はパン&スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョンコード（地域番号）

リージョンコードについて

- DVDプレイヤーとDVDディスクには、それぞれ発売地域ごとにリージョンコード(地域番号)が設定されており、お互いのリージョンコード(地域番号)が一致しない場合、再生することができません。



本製品のリージョンコード（地域番号）は“2”です。

本製品で再生できる DVD ディスクのリージョンコードについて

- ご使用になるディスクにリージョンコード(地域番号)が設定されている場合、ディスクやパッケージに“2”または“ALL”のリージョンマークが記載されていないと、本製品では再生することができません。



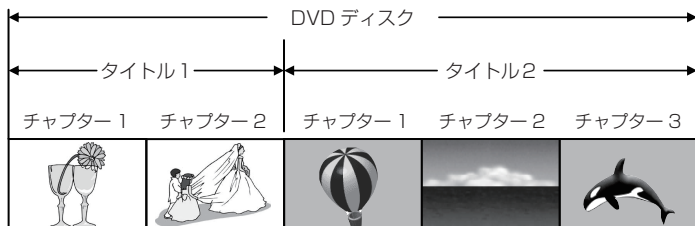
著作権について

- コンテンツの複製は私的利用のための複製に限られ、個人として楽しむなどのほかは、本製品や複製したコンテンツを使用することができません。
- コンテンツを著作権者に無断で複製、配布、配信、販売などといった二次利用する行為は著作権法に違反します。
- 本製品で録画したデータを移動したり、コピーしないでください。
- 本製品は、合衆国特許権と知的所有権上保証された著作権保護技術（マクロビジョン方式）を搭載しています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。また、本製品を分解したり、改造することも禁じられています。

ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

DVD ディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。



CD は、「トラック」で区切られています。



タイトル : DVD ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター : タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック : CD の内容を曲ごとに区切ったもの。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号が割り当てられています。

これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

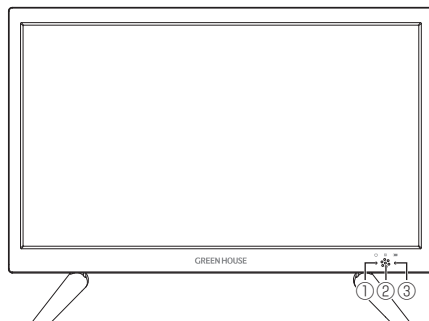
●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

各部のなまえ

各部名称

本体とリモコンの各部名称を紹介します。

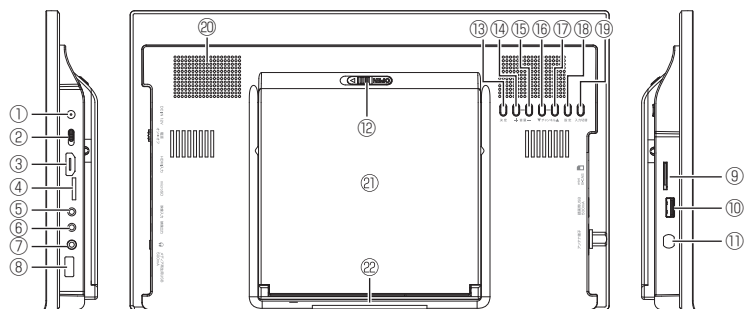
正面図



①	 電源LED	充電中にLEDが点灯します。
②	 リモコン 受光部	リモコンからの操作を受 信します。

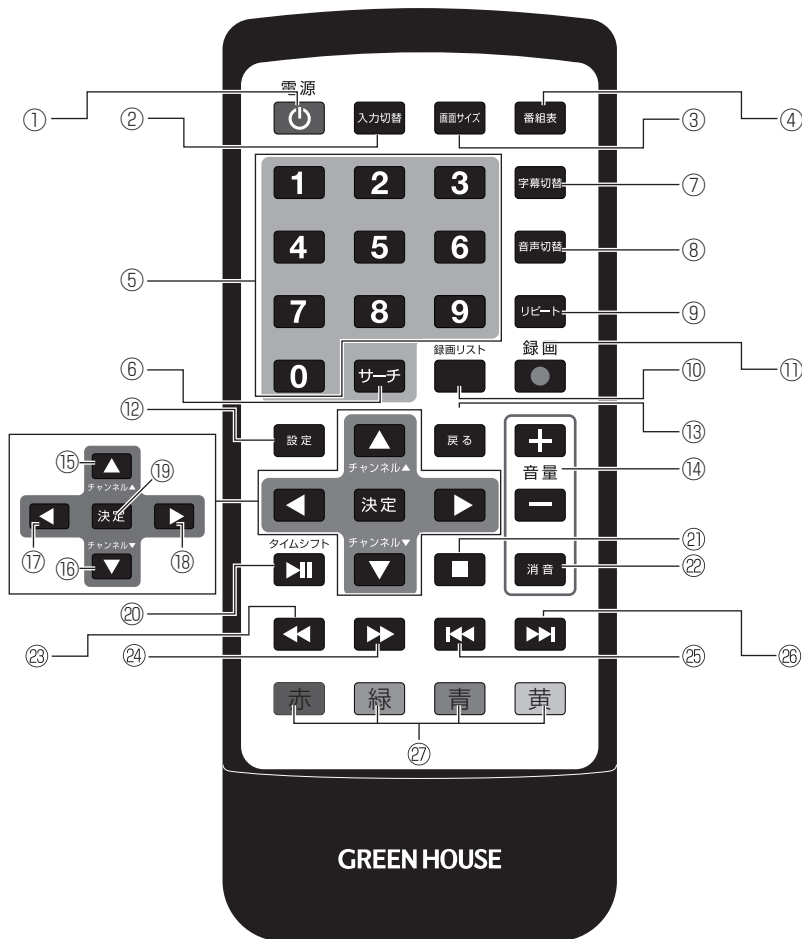
③	 充電LED	電源がオンの間LEDが点灯 します。
---	--	-----------------------

背面図・側面図



①	DC IN 12V	専用ACアダプタや専用シガーソケットアダプタを接続します。	⑫		ディスクトレイカバーを開きます。
②	電源 オン・オフ	主電源のオン/オフをします。	⑬		項目を決定します。
③	HDMI入力	HDMIケーブルを接続します。	⑭		音量を上げます/項目を右に移動します
④	microSD	micro SDカードを挿入します。	⑮		音量を下げます/項目を左に移動します
⑤	映像入力	映像入力する際にAVケーブルを接続します。	⑯		チャンネルを戻します/項目を下に移動します。
⑥	映像出力	DVDの映像を出力するときにAVケーブルを接続します。	⑰		チャンネルを送ります/項目を上移動します。
⑦		ヘッドホン接続します。	⑱		設定メニューを表示します。
⑧	メディア再生用USB 500mA	データ再生用のUSBメモリーを接続します。	㉑		入力切替を表示します。
⑨	mini B-CAS	地上デジタル専用miniB-CASカードを挿入します。	㉒	スピーカー	音声が出力されます。
⑩	録画用USB 500mA	テレビ録画用の外部メモリーを挿入します。	㉓	ディスク トレイ カバー	内部にDVD/CDをセットします。
⑪	アンテナ端子	ロッドアンテナ、室内アンテナケーブルを接続します。	㉔	ハンドル	本体を斜めに立てたり、市販のフックなどに吊り下げるときに使用します。

リモコン



①		電源をオン/スタンバイします
②		入力切替メニューを表示します
③		画面のアスペクト比を切り替えます
④		番組表を表示します
⑤		数字を入力します
⑥		受信できるチャンネルを探します
⑦		字幕のオン/オフを切り替えます
⑧		音声を切り替えます
⑨		リピート設定をします
⑩		録画リストを表示します
⑪		番組を録画します
⑫		設定メニューを表示します
⑬		前の項目に戻ります
⑭		音量を上下します

⑮		チャンネルを送ります/ カーソルを上移動します
⑯		チャンネルを戻します/ カーソルを下移動します
⑰		カーソルを左移動します
⑱		カーソルを右移動します
⑲		項目を決定します
㉑		タイムシフト再生をします/ 再生一時停止を切り替えます
㉒		再生を停止します
㉓		消音します
㉔		早戻しします
㉕		早送りします
㉖		前のファイルを再生します
㉗		次のファイルを再生します
㉘		DVDモードやテレビモードで使 用します

●上記は一例です。実行中のメニューやモードによって動作は異なります。

ハンドルを使う

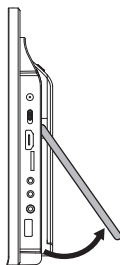
ハンドルを使うことで、環境に合わせて視聴できます。

斜めに立てて使う

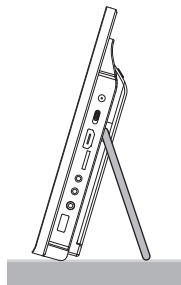
ハンドルを斜めに引き出します。



ハンドルを収納した状態



ハンドルを斜めに引き出す



斜めに立てて使う

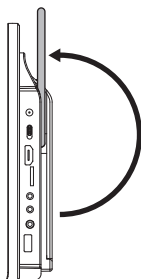
- 指などを挟まないように注意してください。

持ち運ぶ / 吊り下げる

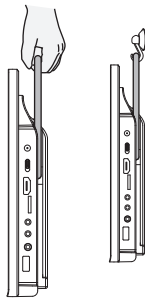
ハンドルを上まで引き出します。



ハンドルを収納した状態



ハンドルを上まで引き出す



持ち運ぶ / 吊り下げる

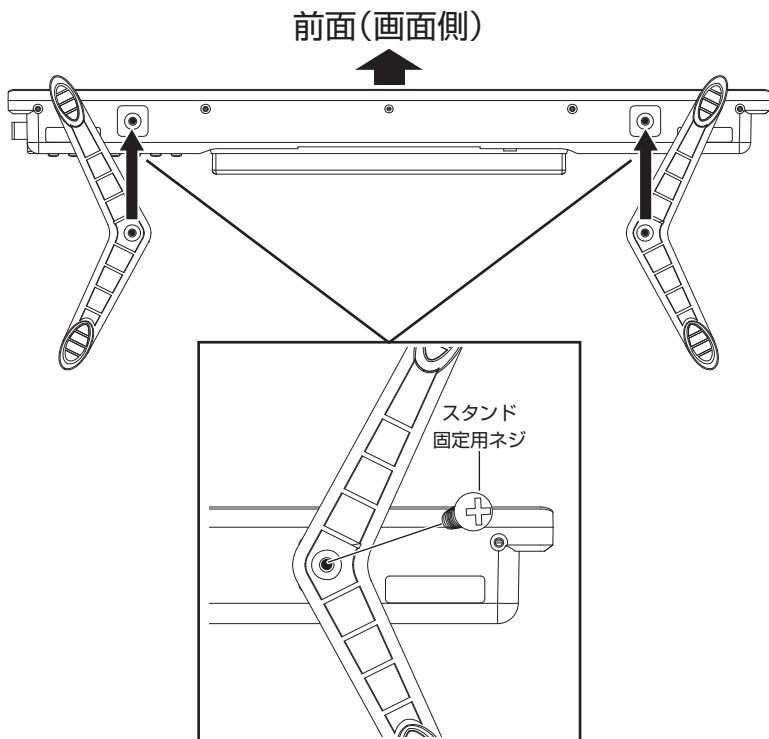
- 指などを挟まないように注意してください。

スタンドを使う

テレビを真っすぐ立てて使う場合は付属のスタンドを使用します。

スタンドの取り付け方

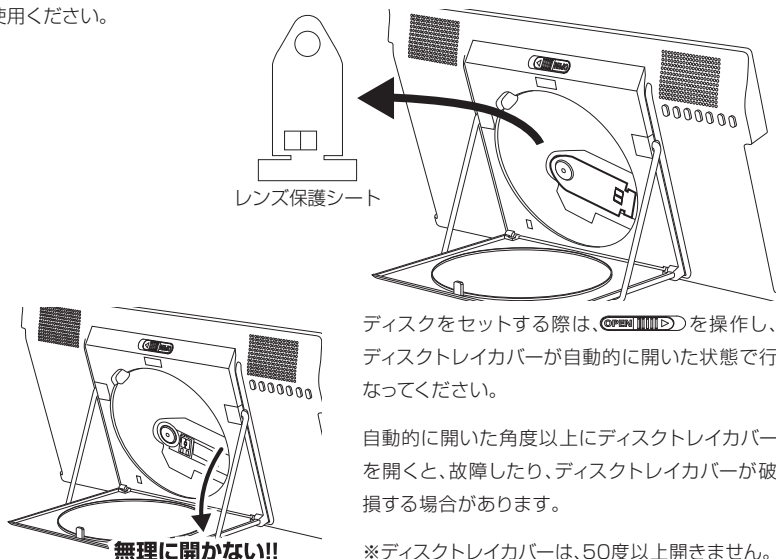
底面の台座にスタンドをはめ込み、付属のスタンド固定用ネジを締めて固定します。



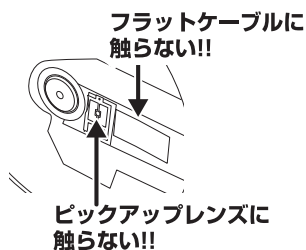
●スタンド固定用ネジを締める際はプラスドライバー (No.1) が必要です。

ディスクトレイカバーを開く

ディスクトレイカバーを開けるとレンズ保護シートが取り付けられていますので、取り外してからご使用ください。



●ディスクトレイカバーが外れたり、割れるおそれがありますので、くれぐれもご注意ください。



ピックアップレンズにより、ディスクに記録されたデータを読み取り、フラットケーブルにより、読み取ったデータをやり取りしていますので、ピックアップレンズやフラットケーブルには触れないでください。

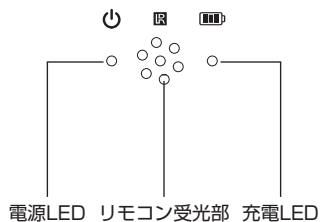
ピックアップレンズやフラットケーブルに触れると、故障したり、破損する場合があります。

※ピックアップレンズにチリやホコリが付着した場合は、市販のレンズクリーナーを使用してください。

●ディスクが再生できなくなったり、ディスクを傷つけるおそれがありますので、くれぐれもご注意ください。

専用 AC アダプタ接続

側面の DC IN 12V  に付属のACアダプタやシガーソケットアダプタを接続します。
LEDの状態は以下の表の通りになります。



前面部

電源LED	
電源オン	点灯
電源オフ / スタンバイ(待機状態)	消灯

充電LED	
充電中	赤点灯
充電完了	緑点灯

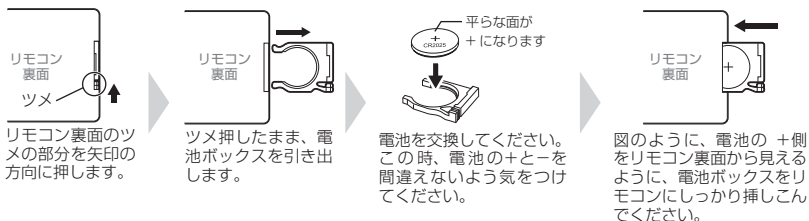
- 電源がオフの場合、充電を開始してから約4時間で満充電となります。
- 使用しながら充電できますが、電源オフの場合より充電時間が長くなる場合があります。
- 内蔵バッテリーは繰り返しの充放電により消耗しますが、交換はできません。

リモコンを準備する

初めてご使用になる場合は、電池挿入口よりプラスチック片を取り除いてください。電池を交換する場合は、市販の CR2025 形ボタン電池をリモコンの刻印に従って交換してください。

- 長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
- 付属の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

リモコン用電池の交換方法



電源操作

右側面の  をオン側に動かすと、電源がオンになり「GREEN HOUSE」画面が表示されます。オフ側に動かすと、電源がオフになります。

右側面の  がオンの状態で、リモコンの  ボタンを押すとスタンバイ状態になり、もう一度押すと電源がオンになります。

-  をオンにしても電源LEDが点灯しない場合、バッテリー残量がありませんので、専用ACアダプタを接続してください。
- 使用状態により異なりますが、満充電から約2時間テレビを視聴できます。
- 本体の  をオンにしないとリモコンの  ボタンでオン/スタンバイの操作はできません。
- リモコンの  ボタンで電源をオフにすることはできません。

動作モードを切り替える

各動作モードの切り替え方法を紹介します。

電源オン後、画面が表示されている状態で本体上面の  カリモコンの **入力切替** を押すと、メニューが表示されます。

入力切替



- | | | |
|----------|-----|---|
| テレビ | ... | 地上デジタル放送 / ワンセグ放送を視聴します |
| AV | ... | 映像入力端子  に接続した機器の映像を表示します |
| HDMI | ... | HDMI入力端子  に接続した機器の映像を表示します |
| USB | ... | データ再生用USBメモリーを読み込み、メディアプレーヤーに移行します |
| DVD | ... | DVD や CD に記録された映像や音声を再生します |
| Micro SD | ... | microSD カードを読み込み、メディアプレーヤーに移行します |

本体の   カリモコンの   で項目を選択し、 / **決定** で確定してください。

リモコンの  で音量を0～100の範囲で調整できます。

- AVモード、HDMIモードでは入力がないまま10分経過すると、無信号電源オフ機能により自動的に電源が切れます。
- 動作切替メニューは無操作で5秒経過すると閉じます。

接続方法

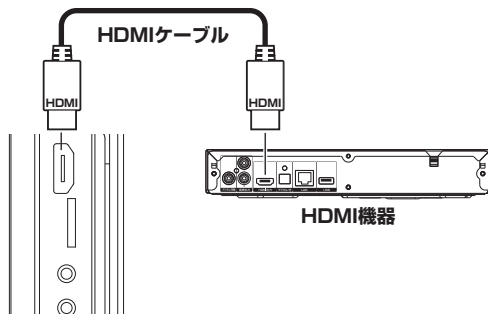
映像・音声入力端子を使用した機器の接続方法をご紹介します。

- 機器の接続は、必ず電源を切って AC アダプタをコンセントから抜いてから行ってください。
- 接続機器の操作や接続方法は、接続機器の取扱説明書を参照してください。

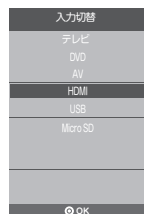
HDMI 機器の接続 / 表示

1. HDMIケーブルを接続する前に本体の電源を切り、ACアダプタのコンセントを抜いてください。
2. 本体の「HDMI端子」にHDMIケーブルでHDMI機器を接続します。

■接続例



3.  を押すと、電源が入り電源 LED が点灯します。
4.  /  を押すと動作切替メニューが表示されます。
5.  /  で「HDMI」を選択して  /  を押します。
6.  ボタンを押すと電源が切れます。



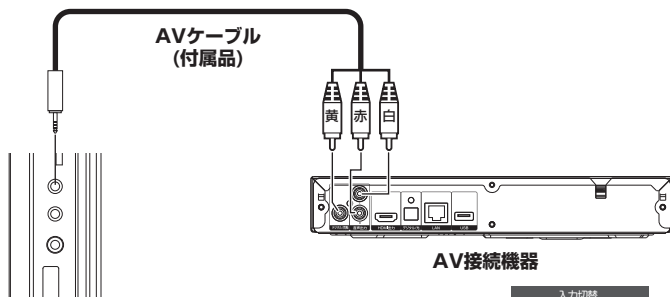
動作切替メニュー

- 接続している HDMI 機器の再生中に本製品から音声がでない場合、接続機器のデジタルオーディオ出力の設定を確認し、「PCM」モードに設定されていることを確認してください。
- MHLには対応していません。

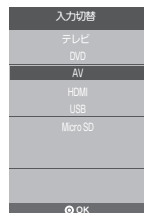
AV機器の接続 / 表示

1. AVケーブルを接続する前に本体の電源を切り、ACアダプタのコンセントを抜いてください。
2. 本体の「映像入力」に付属の AVケーブルで、AV 機器を接続します。

■接続例



3.  を押すと、電源が入り電源 LED が緑点灯します。
4.  / **入力切替** を押すと動作切替メニューが表示されます。
5.  /  で「AV」を選択して  / **決定** を押します。
6.  を押すと電源が切れます。



動作切替メニュー

- 機器側の音量を最小にしてから接続してください。
- 接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。
- すべての入力機器を動作保証するものではありません。

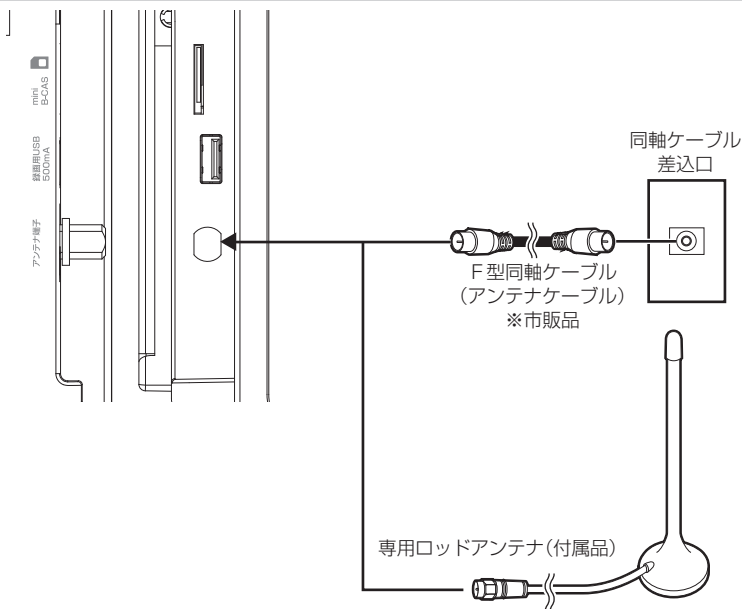
テレビ視聴(地上デジタル放送とワンセグ放送)

地上デジタル放送とワンセグ放送を受信することができます。

視聴準備

地上デジタル放送やワンセグ放送を視聴する前に以下の準備をしてください。

アンテナを接続する



- 付属のロッドアンテナは強電界地域用の簡易アンテナとなります。テレビの電波塔から遠い場所、ビルや地下、コンクリートの壁を使用した建物の中では受信ができない場合があります。窓際や屋外など受信感度が良い場所に設置してください。
- 録画機能を使用する際は、安定した録画のため同軸ケーブル差込口のご利用を推奨します。
- アンテナを接続する場合は、必ず本製品の電源をオフし、ACアダプタをコンセントから抜いてください。ACアダプタはすべての接続が終わってから、コンセントに接続してください。

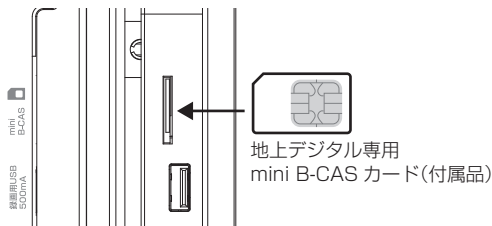
B-CAS（ビーキャス）カードについて

- 本製品には地上デジタル専用 mini B-CAS カードが1枚付属しております。B-CAS カードの役割および本製品への取り付け方法については、「地上デジタル専用 mini B-CAS カードを入れる」をご覧ください。
- mini B-CAS カードの登録や取り扱いの詳細については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。
- mini B-CAS カードの破損、紛失、盗難や本製品の廃棄などでカードが不要になった場合などは、(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。
(お問い合わせ先：カスタマーセンター TEL 0570-000-250)

地上デジタル専用 mini B-CAS カードを入れる

地上デジタル放送を視聴する場合に、準備をしてください。

本製品の電源がオフであることを確認し、mini B-CAS カードの裏面を上にして「カチッ」と音がするまで奥に差し込んでください。



- 地上デジタル放送を視聴、録画する場合は、付属の mini B-CAS カードを本製品に入れる必要があります。
- mini B-CAS カードスロットには、mini B-CAS カード以外を入れないでください。故障や破損の原因になります。
- 使用中に mini B-CAS カードを抜き差ししないでください。

地上デジタル専用 mini B-CAS カードを取り外す

mini B-CASカードを取り外す場合は、mini B-CASカード中央部を指で押し込み、出た先端をつまんでゆっくり取り外します。



初期設定をする

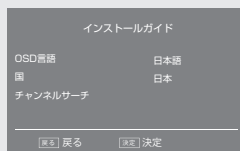
製品の初回利用時に電源をオンにした後入力切替で動作モードを「テレビ」に切り替えます。

はじめて視聴する場合や、TV 設定メニューから工場出荷時設定に戻した場合、「インストールガイド」が表示されます。

決定 ボタンを押すと、チャンネルスキャンが始まり、しばらくすると視聴できます。

サーチ中、受信に成功した場合はリストに登録され完了後に放送が表示されます。

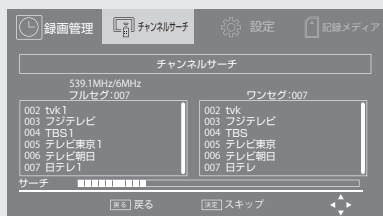
サーチできなかった場合、再度インストールガイド画面が表示されます。



インストールガイド画面



チャンネルスキャン画面



リスト登録画面

本製品は受信状態によって、自動で地上デジタル放送かワンセグ放送のどちらかを受信し、視聴できます。地上デジタル放送かワンセグ放送のどちらかを視聴したい場合は、TV設定メニューの受信切替で変更してください。(P.69)

■受信感が悪い場合には

サーチできなかった場合や、画面が乱れる、ワンセグと地上デジタル放送(フルセグ)がたびたび切り替わり安定しない場合は、F型同軸ケーブル(市販品)で同軸ケーブル差込口と接続するか、地デジ用室内アンテナ(市販品)と接続し、チャンネルスキャンを実行してください。

- アンテナの位置を移動したり、受信環境が変わった場合、必ずチャンネルスキャンをやり直してください。
- 受信環境の状態によっては、チャンネルスキャンに時間がかかる場合があります。
- 放送エリア外では視聴できません。
- チャンネルによって受信状態が異なる場合があります。
- ケーブルテレビや共同アンテナをご利用の際は、パススルー方式での地デジ放送受信に対応しているか、ご契約のケーブルテレビ会社や共同アンテナの管理者にご確認ください。

チャンネルサーチをやり直す

テレビを移動した際や、放送チャンネルの変更や追加の案内がある場合は、**サーチ** ボタンを押してやり直すことができます。

- チャンネルサーチ実行後、予約リストは消去されます。録画予約を行っていた場合は再度登録作業をしてください。

地上デジタル放送 / ワンセグ放送を視聴する

地上デジタル放送とワンセグ放送の操作方法を紹介します。

リモコンボタン機能一覧



・・・ チャンネルを選択し、番組を視聴します。



・・・ 視聴中の番組情報を表示します。
1 回押し：番組概要 2 回押し：番組詳細



・・・ 字幕に切り替えます。



・・・ 主音声・副音声に切り替えます。



・・・ 消音にします。



・・・ 各放送局のチャンネルリストを表示します。



・・・ 視聴中のチャンネル局の番組表を表示します。



・・・ チャンネルを探索します。



・・・ チャンネルの選択をします。



音量

・・・ 音量の調整をします。



・・・ テレビ設定メニューを表示します。



・・・ 視聴中の番組を録画します。

タイムシフト



・・・ タイムシフト再生を開始します。

録画リスト



・・・ 録画リストを表示します。

チャンネルの選局方法

本製品で視聴するチャンネルの選局方法は以下のものがあります。

① チャンネルを送る / 戻る

本体の  またはリモコンの   を押すと、チャンネルサーチで登録されたチャンネル番号の順にチャンネルが切り替わります。

② 数字ボタンによる選局

リモコンの  を押してチャンネルを選局します。3桁のチャンネル番号のうち上2桁（選局直後画面右上に表示される数字）の選局のみ対応します。

③ チャンネルリストを使用する

視聴中にリモコンの **決定** を押し、チャンネルリストを表示させて   で選択し **決定** を押します。

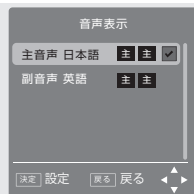


●放送局によっては、チャンネルリストにサブチャンネルが表示されないことがあります。

音声を切り替える

音声多重放送、二か国語放送など、複数の音声に対応した番組は音声の切り替えができます。

再生中にリモコンの **音声切替** を押して切替メニューを表示させ、上下左右キーで選択して **決定** を押します。



- 番組によっては、主音声と副音声を独立して選択するものと、**主** **副** の切り替えにて選択するものがあります。

字幕を切り替える

字幕放送に対応した番組では、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。

再生中にリモコンの **字幕切替** を押すごとに字幕の表示 / 非表示を切り替えます。

情報を表示する

チャンネルの変更直後や、**青** を 1 回押すと現在視聴している番組の情報を表示します。



- ① リモコン番号
- ② 受信波の種類（ワンセグ / 地デジ）
- ③ チャンネル番号
- ④ 受信放送局
- ⑤ 放送時間
- ⑥ 番組名

青 を 2 回押すと、詳細な情報が表示されます。

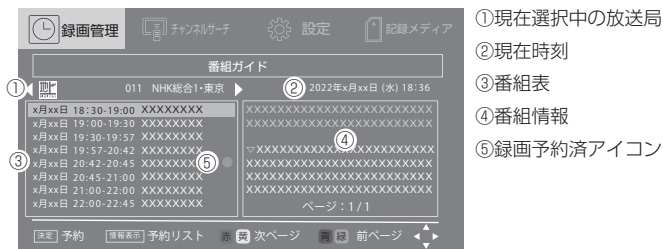


- ① 受信放送局
- ② 番組名
- ③ 受信周波数
- ④ 番組概要
- ⑤ 受信品質

番組表 (EPG ガイド) を表示する

リモコンの **番組表** を押すと、番組表を表示させることができます。

番組表は現在視聴中の番組より、最大 1 週間分の番組が表示できます。



番組を選択後、**決定** を押して録画予約をすることができます。

赤 と **緑** で番組表のページを、**黄** と **青** で番組情報のページを切り替えます。

- EPGガイドの取得には、放送をしばらく受信し続ける必要があります。表示数が少ない、飛び飛びになっている場合は受信完了までしばらくお待ちください。

地上デジタル放送/ワンセグ放送を録画する

地上デジタル放送 / ワンセグ放送の録画方法を紹介します。

番組録画機能について

録画機能をご利用の前に、以下の点について正しくご理解の上でご利用ください。

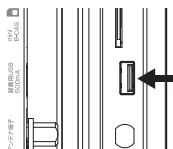
- テレビ左側面の録画用 USB 端子に接続した USB メモリーや USB ハードディスクにデジタルテレビ放送番組を録画できます。
その他の HDMI 端子、AV 端子などの映像、音声は録画できません。
- 本製品はシングルチューナーとなります。裏番組録画(視聴中でない番組の録画)には対応しておりません。
- 本製品に使用するUSBメモリーやUSBハードディスクは事前に試し録画を行い、正常に記録できるかお確かめの上ご利用ください。
- 主電源やバッテリーが切れた状態など、内部のテレビ視聴用のシステムが起動していない場合録画機能は実行されません。事前に主電源を入れ、テレビモードに変更してください。
- 主電源を切る、充電が切れるなど、テレビ視聴用のシステムが停止すると録画が途中で強制終了します。強制終了したときの録画データは破損し、再生できない場合があります。
- 同時刻に重複した番組は録画できません。同時刻に終了、開始が重なる場合についても、録画予約ができない場合があります。
- 本製品で録画したデータを他の再生機器で再生しないでください。また、著作権保護の観点から、他の機器へのバックアップやコピーも行わないでください。
- 故障などの理由で本製品を交換、修理など行った場合録画したデータが再生できなくなる場合があります。
- ワンセグ放送を録画する場合、あらかじめ受信設定を「ワンセグ」に変更してください。自動設定の場合、途中で電波環境が改善している場合自動でフルセグ放送に切り替わります。

録画用外部メモリーの準備

●録画機能を使用する際は、市販のUSB メモリーや USB ハードディスクが必要となります。

- ・推奨容量 1TB 以下
- ・USB2.0 対応
- ・録画専用(メディアプレイヤーモードでは使用できません)
- ・USB ハードディスクをご利用の際は、バスパワー方式でなく、セルフパワー方式(USB ハードディスクに専用 ACアダプタを接続して使用) のものをご利用ください。
- ・パーティション分割された外部メモリーはあらかじめパソコンなどで1つのパーティションにまとめてください。
- ・転送速度が常時安定して最低 5MB/s 以上

①本体左側面(アンテナ端子、mini B-CASスロットのある側)のUSBポートに外部メモリーを接続します。



②設定メニューから、メディアの状態を確認し、必要であればフォーマットします。

メディアの状態確認

設定ボタンを押し、設定メニューを表示させて と **決定** で「記録メディア」→「メモリー管理」を選択します。



「記録デバイス」では、外部メモリーの容量と、タイムシフト再生で使用する容量の割り当て (0.5GB ～ 4GB) ができます。



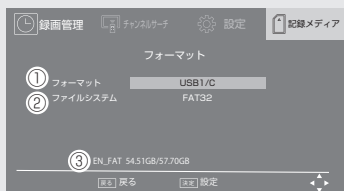
①ディスク選択

②タイムシフト再生用の割り当て設定

③録画用外部メモリーの情報

- 「ディスク空き容量」や「全容量」にて容量が正常に表示されない、0 と表示される場合やディスク形式がパソコンなどで認識される形式と異なる場合はフォーマットを実行してください。
- パーティションが分割されている場合はあらかじめパソコンなどで一つにまとめてください。

「フォーマット」では、外部メモリーのフォーマット（初期化）が行えます。ファイルシステムが「FAT32」であることを確認してから「USB1/C」を選択し **決定** を押して実行します。



- ①フォーマット
- ②フォーマット形式
- ③録画用外部メモリーの情報

- FAT32 形式でフォーマットされた外部メモリーのみ対応します。exFAT形式でフォーマットされた大容量の外部メモリーの場合、NTFS 形式と表示されることがありますが使用できません。
- NTFS 形式でフォーマットされた外部メモリーは動作保証しておりません。
- 本製品でパーティションの削除はできません。

録画容量について

地上デジタル放送を録画する場合

目安ビットレート：1.7MB/s
容量 1GB あたり約 10 分録画

ワンセグ放送を録画する場合

目安ビットレート：0.04MB/s
容量 1GB あたり約 7 時間録画

- 放送番組のデータ量によって録画可能時間が変化します。

録画の優先度について

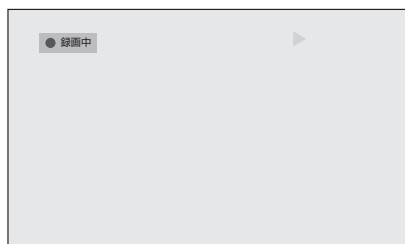
録画機能は、「予約録画」と「直接録画」の2つがあり、
「予約録画」は、日時を指定する方法と EPG から予約する方法のことで、
「直接録画」は、視聴中の番組を録画する方法とタイムシフト再生のことになります。

これら録画機能は、「予約録画」>「直接録画」の優先順で動作します。

直接録画する

番組の視聴中に **録画** を押して録画を開始します。「録画を開始します」と表示された後、録画が開始されます。録画中は画面左上に「録画中」の表示が点滅します。

録画を停止するときは **停止** を押してください。



指定録画（日時を指定して録画する）

日時を指定して番組を録画することができます。

設定 を押し、**上** **下** **左** **右** で「録画管理」から「指定録画」を選択します。



「イベント追加」画面にて必要な項目を入力します。各項目は **上** **下** で移動することができます。すべてを入力した後、**決定** を押しで確定します。



- ①チャンネル 録画したいチャンネルを **左** **右** で選択します。
- ②録画日付 録画を開始する日付を指定します。
- ③開始時間 録画を開始する時刻を指定します。
- ④終了時間 録画を終了する時刻を指定します。
- ⑤繰り返し 録画を行う頻度を「一回」「毎日」「毎週」から設定します。

②～④は、変更したい数字を **左** **右** で選択し、**0** **1** **2** **3** **4** **5** **6** **7** **8** **9** を入力して変更します。

決定 を押した際に、録画時間が重複している場合や、開始時刻が過ぎている、開始と終了時刻が重なっている場合予約できません。イベント追加画面に戻ります。

注意
録画時刻が重複しています [03]
[決定]戻る

注意
無効な予約です
[決定]戻る

予約が追加できた場合は、予約リストが表示されます。



番組表(EPG)から予約する

番組表(EPG)を使用し、番組ごとに録画予約をすることができます。

番組表 で番組表(番組ガイド)を表示し、予約したい番組を選択します。



決定 を押して、イベント追加画面を表示します。番組ガイドの時間に合わせて自動的に設定されます。必要に応じ、繰り返し設定を「一回」「毎日」「毎週」へ変更してください。



決定後、録画日時の重複や録画開始時刻を既に過ぎていない場合は予約リストに追加されます。番組表上では赤い丸が表示されます。



- 本製品は繰り下げ放送や放送休止による時間移動などの時間連動には対応していません。予約リストから再度設定してください。
- 録画予約時刻にバッテリーが切れている、主電源が切れているまたはテレビ以外のモードで使用していると予約時間に録画が開始されません。

予約リストを使用する

予約の確認、追加、編集、削除ができます。



- 赤** : 録画予約を追加します。「指定録画」(P.44)を参照してください。
- 黄** : 選択した録画予約を編集します。
- 青** : 選択した録画予約を削除します。

タイムシフト機能を使う

番組視聴中に、タイムシフト
を押してタイムシフト再生が行えます。

番組の視聴中に来客が来たり、電話が掛かってきたりしたときに一時的に記録しておき、ちょっとした用事を済ませてから続きを視聴することができます。

「タイムシフト開始中です」の表示後、画面が一時停止します。タイムシフト
を再度押すことで再生が開始されます。

タイムシフト再生の停止には  を押した後に  を押します。

- 「記録デバイス」設定で設定した容量分記録します。設定容量以上記録された場合、先頭のデータは上書きされます。長時間離れる場合は録画ボタンによる録画を推奨します。

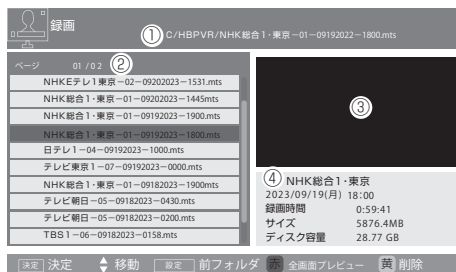


- ①現在の再生状態
- ②現在の再生時間
- ③使用量表示(赤:録画済容量、青:再生済容量)
- ④現在の録画時間

- タイムシフト再生中に一時停止後、③のバーの青色表示は徐々に減少していきます。青色表示がなくなった場合、その後の再生は一時停止箇所からではなく録画データの残っている時間までスキップされます。
- 録画中にタイムシフト機能を使用した場合、タイムシフト機能を終了させるとその時点で録画が終了します。
- タイムシフト機能使用時、早送り等で録画データの残り時間を終了させると録画も連動して終了します。
- 外部メモリーの転送速度が不足している場合、正常に再生できなかったり利用途中で強制終了することがあります。

録画したデータを再生、削除する

リモコンの  を押すと、録画リストが表示されます。



①再生中のファイルの保存場所

②録画ファイル一覧

③録画プレビュー画面

④録画情報

青

  でファイルを選択し、**決定** で再生を開始します。**赤** で全画面表示に切り替えます。録画ファイルを削除するときは **黄** を押すとファイル名の前に ☒ マークが付き、選択状態になり、**決定** を押すと削除されます。

複数のファイルを削除したいときは、削除したいファイルすべてに ☒ マークを付けた後に **決定** を押すと確認メッセージがでるので、もう一度 **決定** を押してください。

●録画中は録画リストを表示できません

リモコンボタン機能一覧（録画データ再生、タイムシフト中）

タイムシフト



・・・ 再生 / 一時停止をします



・・・ 再生を停止します / タイムシフト機能を終了します



・・・ 早戻しをします（2x～32x）



・・・ 早送りをします（2x～32x）



・・・ 前のファイルを再生します（録画データ再生中のみ）



・・・ 次のファイルを再生します（録画データ再生中のみ）



音量

・・・ 音量の調整をします。



消音

・・・ 消音にします。



・・・ （録画ファイル再生中）プレビュー表示 / 全画面表示を切り替えます。



・・・ （録画ファイル再生中）タイムサーチします

●音声の切り替えおよび字幕の切り替えは放送の視聴中に変更してください。

タイムサーチする

録画データの再生中は **青** を押して任意の再生時間に移動することができます。



◀ ▶ で変更したい数字を選び、

1	2	3
4	5	6
7	8	9
0		

 で入力後、**決定** を押して移動します。

再生（基本編）

ディスクを再生する（基本編）

ディスクの基本操作を紹介します。操作方法はディスク再生時のリモコン操作を中心に解説します。

- DVD ディスクの収録状態によって、操作ができない場合があります。
- レコーダーなどで録画したディスクは解説した機能が使用できない場合があります。
- 再生できないディスクや、ディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。
- ディスクトレイカバーを上から強く押さないでください。

ディスクを再生する

1. 入力切替メニューを操作して [DVD] に変更します。
2. ディスクトレイカバーを開けます
液晶画面を開き、本体のを操作してディスクトレイカバーを開けます。
3. ディスクを入れます
再生面を下にして、ディスクの穴をディスクトレイ中央部の突起に、カチッと音がでるまでしっかりとはめこみます。
4. ディスクトレイカバーを閉めます
開いたカバーをカチッと音がするまで下に押します。ディスクが自動的に再生されます。

再生を停止する

リモコンの  ボタンを押すと、再生が停止し「GREEN HOUSE」のロゴ画面になります。

リモコンの  ボタンを 1 度押した場合は停止位置が記憶されますが、ボタンを 2 度押した場合は停止位置が記憶されませんので、ディスクの先頭から再生が開始されます。

一時停止する

再生中にリモコンの  ボタンを 1 度押すと一時停止します。
通常再生に戻るには、もう 1 度  ボタンを押してください。

ディスクの先頭から再生する

リモコンの  ボタンを続けて 2 回押すと、画面右上に「■」が表示されます

リモコンの  ボタンを押すと、ディスクの先頭から再生されます。

早送り / 早戻しする

再生中にリモコンの  /  ボタンを押すと、早送り / 早戻しになります。

 ボタンを押すごとに早送りスピードが 2× ~ 32× で変化します。

 ボタンを押すごとに早戻しスピードが 2× ~ 32× で変化します。

通常再生に戻るには 32× の状態でもう一度、 /  ボタンを押します。
リモコンの  ボタンを押しても戻れます。

●早送り / 早戻し中は音声は出力されません。

前後のチャプターへ移動する

再生中にリモコンの  /  ボタンを押すと、前後のチャプターを選択できます。

 ボタンを押すと、次のチャプターの開始地点へ移動します。

 ボタンを押すと、再生中のチャプターの開始地点へ移動します。
前のチャプターの開始地点へ移動するには 2 回押してください。

メニュー画面を表示する

メニュー画面が記録されている DVD ディスクでは、メニュー画面からタイトルやチャプターを選択しての再生、音声や字幕の設定が可能なものもあります。

リモコンの **黄** ボタンを押すと、DVD ディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。

リモコンの  ボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

リモコンの **決定** ボタンを押すと、選択した項目が表示されます。

● **黄** ボタンでメニュー、**青** ボタンでタイトルメニューが表示されます。

再生（応用編）

ディスクを再生する（応用編）

ディスクの応用操作を紹介します。

音声を切り替える

複数の音声記録されている DVD ディスクは、音声の切り替えができます。

※例：DVD ディスクに「日本語」と「英語」が収録されている場合はどちらか選択できます。

再生中にリモコンの **音声切替** ボタンを押すごとに音声切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り替える場合があります。
- 1 つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り替えはできず、**音声切替** ボタンを押すごとに[左モノラル]→[右モノラル]→[ミックスモノラル]→[ステレオ]が選択できます。
- DTS 収録された音声は再生できません。

字幕を切り替える

字幕が記録されている DVD ディスクでは、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。

また、複数の字幕が記録されている DVD ディスクでは、字幕を切り替えられます。

再生中にリモコンの **字幕切替** ボタンを押すごとに表示される字幕が切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り替える場合があります。
- 字幕が記録されていないディスクや、1 つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り替えはできません。

アングルを切り替える

複数のアングルが記録されているディスクでは、アングルを切り替えられます。

リモコンの  ボタンを押すと画面右上に下のように表示されます。

 **1** / 9 現在のアングル番号 / 総アングル数

リモコンの  ボタンで、アングル番号を選択してください。

再生中の画面アングルが切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面でアングルを切り替える必要があります。
- 1つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り替えはできません。

再生（便利な再生機能編）

ディスクを再生する（便利な再生機能編）

ディスクの便利な再生機能を紹介します。

再生中の情報を表示する

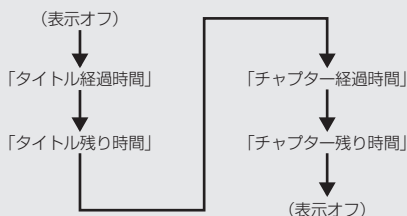
再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。

再生中にリモコンの **赤** ボタンを押すと下のように画面に表示されます。

TT:01/03 CH:17/36
1:08:26

 ※タイトル再生時間の一例です。

リモコンの **赤** ボタンを押すごとに情報表示が切り替えられます。



●ディスクによっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

サーチ再生する

タイトルやチャプターを指定して、頭出し再生ができます。

項目はリモコンの **◀▶** ボタンで移動し、数字の入力は

1	2	3
4	5	6
7	8	9
0		

 ボタンで行います。

再生中にリモコンの **サーチ** ボタンを押すと、下のように切り替えできます。

タイトル03/12チャプター□/01 … タイトル/チャプター番号を指定できます。

タイトル03/12 時間 □:□:□ … タイトル/タイトル内の時間を指定できます。

チャプター01/01 時間 □:□:□ … チャプター/チャプター内の時間を指定できます。

●ディスクによっては、サーチ再生できない場合があります。

プログラム再生

お好みの順にチャプターを20番目までプログラムして再生します。

再生中にリモコンの **番組表** ボタンを押すと画面に下図のようなメニューが表示されます。



- ① … 「TT:」にはタイトル番号を「CH:」にはチャプター番号を入力します。
リモコンの **決定** ボタンで入力モードに切り替わり、 ボタンで数字を入力します。
- ② … 「プログラム再生」画面を終了します。
- ③ … ①に登録したプログラム再生をスタート(停止)します。
- ④ … 「次のページへ」を選択すると、11～20番目まで登録できる画面に切り替わります。

プログラム再生を終了するには、もう1度 **番組表** ボタンを押して「停止」を選択してください。

●ディスクによってはプログラム再生機能が有効にならない場合があります。

リピート再生する

好みの「チャプター」「タイトル」をリピートして再生できます。

リモコンの  ボタンを押すごとに下のリピートモードが選択できます。

チャプター	・・・現在のチャプターを繰り返し再生し、チャプターの最後まで再生すると、チャプターの先頭から再生が始まります。
タイトル	・・・現在のタイトルを繰り返し再生し、タイトルの最後まで再生すると、タイトルの先頭から再生が始まります。
オール	・・・ディスク全体を繰り返し再生します。
リピートオフ	・・・リピート再生を無効にし、通常再生に戻ります。

- ディスクによっては、リピート再生できない場合があります。
- CD 再生時は [トラック] [オール] [リピートオフ] が使用できます。

スロー再生する

再生中の速度を 1/2 ～ 1/16 倍でスロー再生できます。

ディスク再生中に、リモコンの  ボタンを押すと、スロー再生になります。

ボタンを押すごとに  [1/2] [1/4] [1/8] [1/16] が選択でき、もう一度  ボタンを押すと通常再生に戻ります。

- スロー再生中、音声は再生できません。
- ディスクによっては、スロー再生できない場合があります。

データディスク

ファイルメニューの操作

データディスク（データ CD、データ DVD）再生時のファイルメニューの操作方法を紹介します。

ファイルメニューの表示

対応するファイル形式の動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルが再生できます。



- 対応するファイル形式であっても、すべてのファイル、すべての対応ディスクの動作保証をするものではありません。
- 一部の日本語ファイル名は正常に表示や再生されない場合があります。
- ファイルや動作中のモードによって機能が使用できない場合があります。

ファイルメニューの基本操作

リモコンの  ボタンで再生したいファイルを選択し、**決定** ボタンを押してください。ファイルが再生または表示されます。別のフォルダに移動したい場合は、フォルダを選択し、**決定** ボタンで移動してください。

 **緑** ボタンを押すとファイルを再生リストに追加できます。

 **番組表** を押すとフォルダ表示 / ファイル一覧 / 再生リストの切り替えができます。

ファイル番号を指定して再生する

ファイルメニュー画面でリモコンの  ボタンを押すと、ファイル番号を指定して再生できます。

ファイルメニュー左上部の箇所に「--2/009」（ ボタンの **2** を押した場合）のように選択した番号が反転表示されるので、リモコンの **決定** ボタンを押してください。

対応ファイル形式

データディスクの再生時は、以下のファイル形式に対応しています。

画像 JPEG

音楽 MP3

動画 MPEG1、MPEG2

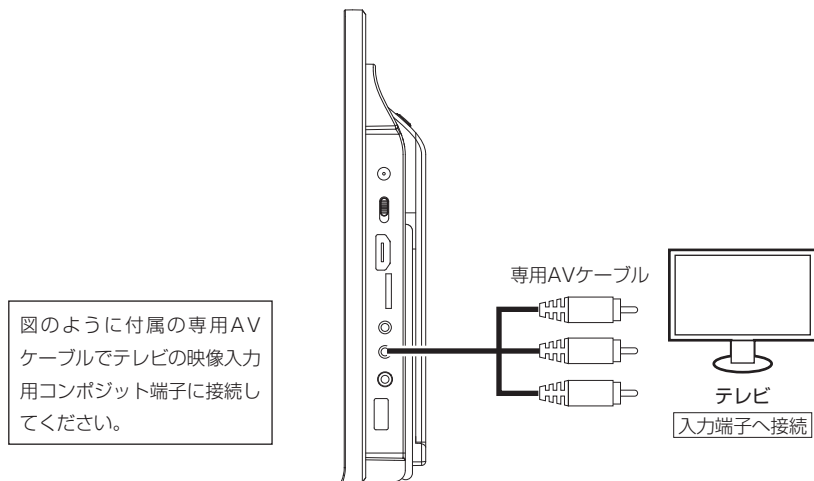
●動画ファイルは、解像度720×480, 30fpsのデータまで対応します。

ファイル再生中の操作

-  . . . 再生します。
-  . . . 再生を停止します。
-  . . . 再生を一時停止します。
通常再生に戻るには、もう一度ボタンを押してください。
-  . . . 次のファイルに移動します。
-  . . . 前のファイルに移動します。
-  . . . 画像を反時計回りに 90 度単位で回転表示します。
-  . . . 画像を時計回りに 90 度単位で回転表示します。
-  . . . 画像を上下反転表示します。
-  . . . 画像を左右反転表示します。
-  . . . ボタンを押すごとに [1 ファイルリピート] [フォルダーリピート] [リピートオフ] が選択できます。
-  . . . スライドショー効果を切り替えます。
-  . . . ファイルメニューに移動します。
-  . . . 早送りします。
-  . . . 早戻しします。

DVDの映像をテレビに出力する

映像出力端子を使用して DVD の映像をテレビに出力する方法を紹介します。



- テレビ・映像機器側の音量を最小にしてから接続してください。
- 接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。
- DVD モード以外の映像を出力することはできません。
- 映像出力時も本体スピーカーから音声が出力されます。
本体スピーカーからの音声を消す場合は  にヘッドホンなどを接続してください。

メディアプレイヤーを使用する

使用できる外部メモリー

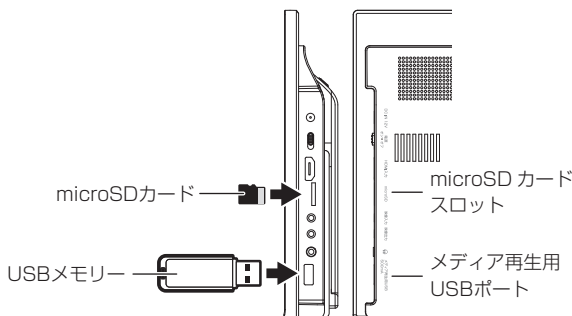
メディアプレイヤーモードでは以下の外部メモリーに対応しています。

- ・ microSD カード (～ 2GB) / microSDHC カード (～ 32GB)
- ・ USB メモリー (～ 32GB)

- すべての外部メモリー、すべての容量の動作保証をするものではありません。
- FATやFAT32でフォーマットされた外部メモリーのみ使用でき、その他のフォーマットに設定された外部メモリーでの動作保証はしておりません。

外部メモリーを取り付ける

本体右側面 (HDMI 端子、主電源スイッチ側) のメディア再生用 USB ポート、microSD カードスロットに向きをよく確認して取り付けます。



- 外部メモリーの取り付け / 取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 搭載されている USB ポートは、外部メモリー (USB メモリー、USB ハードディスク) 以外の機器は認識しません。
- USB ポートから供給できる最大電流は、500mA までです。
- 搭載されている USB ポートに接続している機器が 500mA 以上の電流を消費する場合、システムが不安定になったり、機器が破損したりすることがあります。
- USBハブなどを使用した複数の外部メモリーの利用時の動作保証はしておりません。
- 録画用の USB ポートのデータは再生できません。

外部メモリー内のファイルを再生する

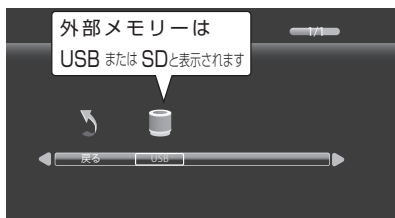
1. を押すと、電源が入り電源オンLED が緑点灯します。
2. を押すと動作切替メニューが表示されます。
3. で「USB」または「micro SD」を選択して を押します。

再生するファイルの選択

1. 再生メディア選択画面が表示されますので、 で「静止画」「動画」「音楽」「テキスト」から再生したいファイルの種類を選択し を押します。
2. 再生ストレージ選択画面が表示されますので、再生したい外部メモリーを選択します。
3. ファイル選択画面が表示されますので、再生したいファイルまたはそれらがいったフォルダを選択し、 を押します。
4. 再生したいファイルを選択し、 を押します。

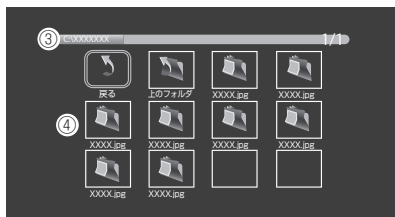


再生メディア選択画面



再生ストレージ選択画面

- ①メディア認識 … 外部メモリーを認識していると「USB2.0」または「SD」と表示されます。
②項目一覧



ファイル選択画面

- ③現在のフォルダ
④フォルダ内一覧

●USB ハブや、複数のパーティションが切られた外部メモリーの利用時の動作保証はしておりません。

静止画ファイル

ファイル選択画面で再生したい静止画を選択すると、選択したファイルからスライドショーが始まります。

スライドショーの操作は、画面下のサブメニューかリモコンのボタンから行います。

■静止画ファイルサブメニュー



◀ ▶ で項目を合わせて、**決定** を押して決定します。

サブメニューの表示を消したい場合は **▼**、再度表示したい場合は、**決定** を押します。

	サブ メニュー アイコン	リモコン ボタン	内容
①		タイムシフト 	スライドショーの再生/一時停止
②			前のファイルへ
③			次のファイルへ
④			停止(ファイル再生画面へ戻ります)
⑤		リピート 	リピート再生します※1
⑥			BGMを再生/停止します※2
⑦			選択フォルダのファイルリスト を表示します。

	サブ メニュー アイコン	リモコン ボタン	内容
⑧			選択ファイルの詳細情報を表示 します
⑨			右方向に90°回転します
⑩			左方向に90°回転します
⑪			ズームインします※3
⑫			ズームアウトします※3
⑬			本製品では使用しません
⑭			スライドショーの効果を切り替 えます

※1: オール:すべてのファイルをリピート再生します
シングル:1つのファイルをリピート再生します
リピートオフ:リピート再生しません

※2: 静止画と同じフォルダに音楽ファイル(MP3)を入れるとBGMとして音楽が再生されます。
もう一度選択すると停止します。

※3: 1/4、1/2、1、2、4、8倍の間でズームします

●対応している静止画のファイル形式は、「JPG」「BMP」「PNG」です。

音楽ファイル

ファイル選択画面で再生したい音楽ファイルを選択すると、選択したファイルが再生されます。
音楽ファイルの操作は、画面下のサブメニューからリモコンのボタンから行います。

■音楽ファイルサブメニュー



◀ ▶ で項目を合わせて、**決定** を押して決定します。

サブメニューの表示を消したい場合は ▼、再度表示したい場合は、**決定** を押します。

	サブ メニュー アイコン	リモコン ボタン	内容
①	⏮ ⏭	タイムシフト ⏮ ⏭	音楽ファイルの再生/一時停止 します
②	⏮	⏮	早戻しします
③	⏭	⏭	早送りします
④	⏮	⏮	前のファイルへ
⑤	⏭	⏭	次のファイルへ
⑥	■	■	停止(ファイル再生画面へ戻ります)

	サブ メニュー アイコン	リモコン ボタン	内容
⑦	🔄	リピート	リピート再生します※1
⑧	🔄		区間指定のリピート再生をします ※2
⑨	🔊	消音	消音します
⑩	📁		選択フォルダのファイルリスト を表示します。
⑪	ℹ		選択ファイルの詳細情報を表示 します※3
⑫	🕒		タイムサーチします※4

※1: オール:すべてのファイルをリピート再生します

シングル: 1つのファイルをリピート再生します

リピートオフ: リピート再生しません

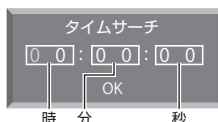
※2: 音楽再生中に選択すると「セットA」と表示されます。再度選択すると「セットB」と表示され、この区間をリピート再生します。

終了したいときはもう一度選択し、「リピートオフ」にします。

※3: Unicode文字のID3タグ情報が合わせて表示されます。

※4: ファイル中の指定した時間から再生することができます。

タイムサーチメニューが表示されますので指定時間を数字で入力して **決定** を押すとカーソルが「OK」に移動しますので、再度 **決定** を押します。



動画ファイル

ファイル選択画面で再生したい動画ファイルを選択すると、選択したファイルが再生されます。
動画ファイルの操作は、画面下のサブメニューからリモコンのボタンから行います。

■動画ファイルサブメニュー



◀ ▶ で項目を合わせて、**決定** を押して決定します。

サブメニューの表示を消したい場合は ▼、再度表示したい場合は、**決定** を押します。

	サブ メニュー アイコン	リモコン ボタン	内容
①	⏮ ⏪	タイムシフト ⏮ ⏪	動画ファイルの再生/一時停止 します
②	⏮	⏮	早戻し再生します
③	⏭	⏭	早送り再生します
④	⏮	⏮	前のファイルへ
⑤	⏭	⏭	次のファイルへ
⑥	■	■	停止(ファイル再生画面へ戻ります)
⑦	🔄	リピート	リピート再生します※1
⑧	🔄		区間指定のリピート再生をします ※2

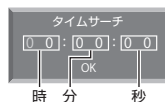
	サブ メニュー アイコン	リモコン ボタン	内容
⑨	📁		選択フォルダのファイルリスト を表示します。
⑩	i		選択ファイルの詳細情報を表示 します
⑪	▶		1/2、1/4、1/8、1/16の速さで スロー再生します
⑫	⏮		1コマずつ再生します
⑬	🕒		タイムサーチします※3
⑭	⚙️		アスペクト比を切り替えます
		消音	消音します

※1: オール:すべてのファイルをリピート再生します
シングル:1つのファイルをリピート再生します
リピートオフ:リピート再生しません

※2: 動画再生中に選択すると「セットA」と表示されます。再度選択すると「セットB」と表示され、この区間をリピート再生します。

終了したいときはもう一度選択し、「リピートオフ」にします。

※3: ファイル中の指定した時間から再生することができます。
タイムサーチメニューが表示されますので指定時間を数字で入力して **決定** を押すとカーソルが「OK」に移動しますので、再度 **決定** を押します。



●対応しているファイル形式であっても、ファイルによっては再生出来ない場合があります。

テキストファイル

ファイル選択画面で再生したいテキストファイルを選択すると、選択したファイルが表示されます。テキストファイルの操作は、画面下のサブメニューカリモコンのボタンから行います。

■テキストファイルサブメニュー



◀ ▶ で項目を合わせて、**決定** を押して決定します。

サブメニューの表示を消したい場合は **▼**、再度表示したい場合は、**決定** を押します。

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
①			前のページを表示します
②			次のページを表示します
③			前のファイルへ
④			次のファイルへ

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
⑤			停止(ファイル再生画面へ戻ります)
⑥			BGMを再生/停止します※1
⑦			選択フォルダのファイルリストを表示します
⑧			選択ファイルの詳細情報を表示します

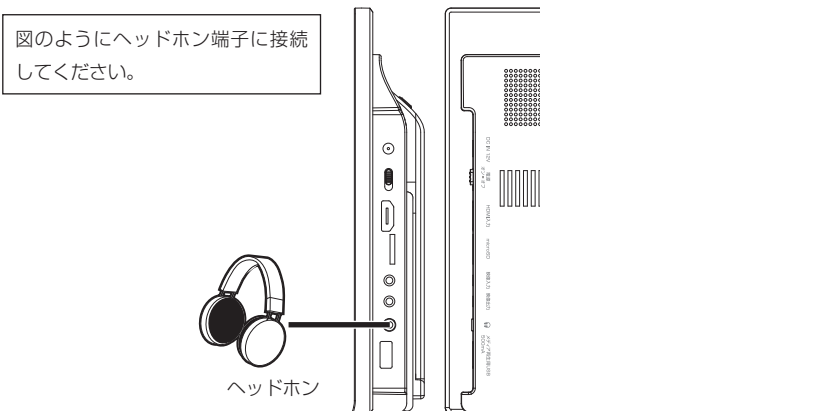
※1: テキストファイルと同じフォルダに音楽ファイル(MP3)を入れるとBGMとして音楽が再生されます。もう一度選択すると停止します。

- UTF-8 (BOM あり)、UTF-16 (LE)、UTF-16(BE) 形式のファイルに対応しています。
- 表示されたテキストは、▲ ▼ で 1 行ずつ移動できます。

ヘッドホンを使用する

ヘッドホン端子を使用してヘッドホンで聞く方法をご紹介します。

図のようにヘッドホン端子に接続してください。



●音量を最小にしてから接続してください。

本体設定

TV設定メニューの操作

TV の設定を変更するには、TV 設定メニュー画面で行います。

動作モードが [テレビ] のときに、リモコンの **設定** を押すと、以下のように表示されます。
リモコンの **▼▲◀▶** で項目を選択し、**決定** で確定します。

1 階層	2階層	3階層	解説
録画管理	予約リスト		①
	番組表録画		②
	指定録画		③
チャンネルサーチ	自動スキャン		④
設定	解像度	480i	⑤
		480P	
		720P	
		1080i	
		1080P	
	受信切替	自動	⑥
		ワンセグ	
		フルセグ	
	工場出荷時設定		⑦
	デバイス情報		⑧
	ファームウェア更新		⑨
記録メディア	メディア再生		⑩
	メモリー管理	記録デバイス	⑪
		フォーマット	⑫

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

- ① . . . 予約リストを表示します。(P.46)
- ② . . . 番組表を表示します。(P.40)
- ③ . . . 指定録画 (日時指定録画) 画面を表示します。(P.44)
- ④ . . . チャンネルサーチ (P.35) をします。
- ⑤ . . . 表示する解像度を変更できます。通常は使用しません。
- ⑥ . . . テレビの受信方式を「自動」(自動切替)、「ワンセグ」、「フルセグ」(地上デジタル放送) から選択できます。初期設定は、「自動」です。
- ⑦ . . . 設定内容を初期状態に戻します。
- ⑧ . . . B-CAS カードやソフトウェアの情報を表示します。
- ⑨ . . . 本製品では使用しません。
- ⑩ . . . 録画リストを表示します。
- ⑪ . . . 録画用 USB ポートに接続した外部メモリーの情報を確認します。(P.42)
- ⑫ . . . 録画用 USB ポートに接続した外部メモリーを初期化します。(P.43)

DVD設定メニューの操作

DVD 設定を変更するには DVD 設定メニュー画面で変更します。

動作モードが「DVD」のときにリモコンの **設定** ボタンを押すと、DVD設定メニューが表示されます。

リモコンの **◀** / **▶** ボタンで項目を選択し、**決定** ボタンで確定します。

基本設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
基本設定	画面表示	4:3/PS	①
		4:3/LB	
		16:9	
	画面表示言語	英語	②
		日本語	
	スクリーンセーバー	オン	③
		オフ	
	レジューム	オン	④
		オフ	

※工場出荷時の初期設定です。

- ①: ディスクに応じて映像の比率を変更できます。
 ②: 画面表示の言語を選択できます。
 ③: スクリーンセーバー表示の「オン」「オフ」を変更できます。
 ④: レジューム（ラストメモリー機能）の「オン」「オフ」を変更できます。

スピーカー設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
スピーカー	ダウンミックス	LT/RT	⑤
		ステレオ	

※工場出荷時の初期設定です。

- ⑤: サラウンド音声のダウンミックス設定を「LT/RT」「ステレオ」から設定できます。

●スピーカー設定の項目は対応しているディスクのみ設定が反映されます。

音声設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
音声設定	ステレオ	ステレオ	⑥
		左モノラル	
		右モノラル	
		ミックスモノラル	
	ダイナミック	FULL	⑦
		7/8 ~ 1/8	
		OFF	

※工場出荷時の初期設定です。

⑥：複数の音声チャンネルがあるディスクのダウンミックス設定を変更できます。

⑦：ダイナミックレンジの圧縮設定を変更できます。

●音声設定の項目は対応したディスクのみ設定が反映されます。

映像設定

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	解説
映像設定	画質	シャープネス	高	⑧
			中	
			低	
		明るさ	-16 ~ 0 ~ 16	⑨
		コントラスト	-16 ~ 0 ~ 16	⑩

※工場出荷時の初期設定です。

⑧：映像の鮮明度を「高」「中」「低」から設定できます。

⑨：映像の明るさを設定できます。初期設定は「0」になっています。

⑩：映像のコントラストを設定できます。初期設定は「0」になっています。

●映像設定の項目は、映像出力端子からの出力に反映します。

環境設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
環境設定	音声言語	英語	⑪
		日本語	
	字幕言語	英語	
		日本語	
	ディスクメニュー	英語	⑫
		日本語	
	視聴制限	レベル1	
		レベル2	
		レベル3	
		レベル4	
		レベル5	
		レベル6	
		レベル7	
		無制限	
	パスワード変更	パスワード変更	⑬
	初期設定	リセット	⑭

※工場出荷時の初期設定です。

- ⑪: 音声、字幕、メニューで使用される言語を選択できます。ディスクの各言語設定が優先され、設定どおりに動作しないことがあります。
- ⑫: ペアレンタルコントロールのレベルを選択できます。初期設定は無制限（レベル 8）になっています。
- ⑬: パスワードの変更ができます。初期パスワードは「888888」です。
- ⑭: 初期設定に戻します。

- 「視聴制限」「パスワード変更」の設定には、パスワードの入力が必要です。
- 初期設定に戻した際、パスワードおよび視聴制限設定は保持されます。
- パスワードを忘れた場合、初期のパスワード「888888」を入力して再設定ができます。
- ディスクによっては、設定した項目が反映されないことがあります。

本体設定メニューの操作

本体の設定を変更するには本体設定メニュー画面で変更します

設定画面の表示と操作方法

テレビモードおよび DVD モードのときは、リモコンの **入力切替** を押して入力切替メニューを表示中にリモコンの **設定** を押すと本体設定メニュー画面が表示されます。
 その他のモードのときは、リモコンの **設定** を押すと本体設定メニュー画面が表示されます。
 リモコンの **▼** **▲** **◀** **▶** を押して項目を選択し、**決定** を押します。
 ※前の項目へ戻る場合は、**設定** を押してください。

映像設定

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説
映像	画面モード選択	標準			①
		ソフト			
		カスタム	コントラスト	0 ~ 100	②
			明るさ	0 ~ 100	
			色彩	0 ~ 100	
			シャープネス	0 ~ 100	
			色調	0 ~ 100	
		ダイナミック			①
	色温度	低			③
		中			
		高			
	画面サイズ	16:9			④
		4:3			
		自動			
	ノイズリダクション	切			⑤
		弱			
		強			
		自動			
		中			

- ① 画像の鮮明度を「標準」「ソフト」「カスタム」「ダイナミック」から選択できます。※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。
 ② 「カスタム」を選択したときに「コントラスト」「明るさ」「色彩」「シャープネス」「色調」を調整できます。初期値はそれぞれ「50」になっています。
 ③ 色温度を「低」「中」「高」から選択できます。
 ④ 画面サイズを「16:9」「4:3」「自動」から選択できます。
 ⑤ ノイズリダクション設定を「切」「弱」「強」「自動」「中」から選択できます。

●「コントラスト」「明るさ」「色彩」「シャープネス」「色調」は **決定** で項目確定後に **◀** **▶** で調整できます。

音声設定

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説
音声	音楽モード選択	標準			①
		音楽			
		スポーツ			
		カスタム	高音	0 ~ 100	②
			低音	0 ~ 100	
		映画			①
	バランス	-50 ~ 50			③
	自動ボリューム	オフ			④
		オン			
	サラウンド	オフ			⑤
オン					

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

①音声モードを「標準」「音楽」「スポーツ」「カスタム」「映画」から選択できます。

「カスタム」を選ぶと「高音」「低音」が選択できます。

②「高音」「低音」が調整できます。

③スピーカーの左右バランスを調整できます。初期値は「0」です。

④「オン」にすると初期音量を小さく調整します。

⑤「オン」に設定すると広がりがある音に調整します。

●「高音」「低音」「バランス」は   で調整できます。

●「カスタム」の初期値は「高音」が50、「低音」が30になっています。

●「カスタム」の設定と音量設定は製品が振動したり、音が割れない範囲でお楽しみください。

時間設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
時間	スリープタイマー	オフ	①
		10 分	
		20 分	
		30 分	
		60 分	
		90 分	
		120 分	
		180 分	
		240 分	
	オートスリープ	なし	②
		4 時間	
		6 時間	
		8 時間	

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

①指定した時間経過後、スタンバイになります。手動で設定時間中に電源をオフにすると設定が解除されます。

②指定した時間何も操作していないとスタンバイになります。オートスリープ設定で電源が切れると、設定が解除されます。

●設定時間の 1 分前になると画面にカウントダウンが表示されます。

●設定時間中に電源をオフにするとスリープタイマーの設定は解除されます。

設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
設定	言語 /language	日本語	①
		English	
	工場出荷時設定		②

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

①メニュー言語を選択できます。

②設定を初期化し、工場出荷状態にします。

故障かな？と思ったら

製品本体

電源が入らない

- 専用ACアダプタをコンセントへしっかりと差し込んでください。(P.27)
- 電池残量がなくなっていないか確認してください。(P.28)

リモコンがきかない

- 電池の＋、－の向きを確認してください。(P.28)
- 電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。(P.28)
- リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。(P.27)
- リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。

すべての設定を初期設定に戻したい

- 設定画面の「設定」から「工場出荷時設定」を選択し、出荷時の設定に戻してください。(P.75)
- TV設定メニューの「工場出荷時設定」を選択し、出荷時の設定に戻してください。(P.69)

●静電気や落雷、他の機器との干渉やボタン操作を立て続けに行うなど、製品に高い負荷が掛かった際に本製品が正常に機能しない場合があります。その際は、本製品の電源をオフにしてからオンにする、または電源をオフにしてからACアダプタのプラグを抜き、再び挿し込んでから電源をオンにすることにより正常動作になる場合があります。

地上デジタル放送 / ワンセグ放送

視聴できない

- 付属アンテナは窓際などの受信感度が良い場所に設置してください。ビルや地下、コンクリートの壁を使用した建物の中では受信ができない場合があります。(P.32)
- テレビ以外のモードにしていますか。
- CATV や共同アンテナを使用している場合、パススルー方式に対応しているか確認してください。トランスモジュレーション方式の場合は設置事業者にお問い合わせください。

地上デジタル放送 が視聴できない

- TV 設定メニューの受信切替の設定が[フルセグ]に選択されているか確認してください。(P.69)
- 受信感度が弱い可能性があります。受信感度が良い場所に設置するか、壁面のアンテナ端子をご使用ください。
- mini B-CAS カードは正しく挿入されているか、端子面が汚れていないか確認してください。

ワンセグ放送が視 聴できない

- TV 設定メニューの受信切替の設定が[ワンセグ]に選択されているか確認してください。(P.69)

視聴中にコマ落ちや ブロックノイズが出る

- 受信感度が弱い可能性があります。受信感度が良い場所に設置してください。(P.32)
- アンテナが外れかかったり、アンテナケーブルが断線しかかったりしていませんか。
- 悪天候時や、電波障害が発生している場合があります。
- 番組の切り替わりタイミングや録画開始など、システムに負荷が掛かった際に発生する場合があります。

特定のチャンネルが 選局できない

- チャンネル登録が済んでいるか確認し、登録されていない場合は再度チャンネルサーチを行ってください。
- 受信感度が弱い可能性があります。受信感度が良い場所に設置するか、壁面のアンテナ端子をご使用ください。
- CATV や共同アンテナを使用している場合、パススルー方式に対応しているか確認してください。トランスモジュレーション方式の場合は設置事業者にお問い合わせください。

録画や、録画ファイルの再生ができない

- 録画用の USB ポートに外部メモリーを接続していますか。
- ファイルシステム形式は FAT32 になっていますか。
- 外部メモリーの空き容量は足りていますか。
- 録画用の外部メモリーの転送速度が不足している場合、ブロックノイズが生じたり途中で録画が強制終了することがあります。転送速度が安定した外部メモリーをご利用ください。

HDMI 入力 / AV 入力

視聴できない

- ケーブルは正しく接続されていますか。

音声がでない

- ケーブルは正しく接続されていますか。
- HDMI 入力を使用する際は、接続機器の HDMI 音声設定が「PCM」となっていますか。

メディアプレーヤーモード

動画ファイルや音楽ファイルが再生できない

- 対応ファイル形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になります。
- メディア再生用の USB ポートに外部メモリーを接続していますか。

ディスク再生

再生できない

- 本製品で再生できるディスクが確認してください。(P.15)
- ディスクのリージョンコードを確認してください。(P.18)
- 視聴制限が設定されていないか確認してください。(P.72)
- ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13)
- ディスクはラベル面を上正しくセットしてください。
- ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。
- 寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部やディスクに露が付くことがあります。1～2 時間放置してください。(P.12)
- 記録型のや DVD、CD は記録状態により再生できない場合があります。

録画したDVDディスクが再生できない

- DVDディスクがファイナライズされていない場合、再生することができません。
- ディスクの種類や録画番組によっては、再生開始までのディスク読み込みに時間がかかる場合があります。

映像が乱れる

- ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13)
- サーチ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。

音声言語が切り替えられない

- 複数の音声が入力されていないディスクでは切り替えできません。(P.17)
- 音声切替** ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.53)

音声がでない

- 音量レベルを確認してください。
- 早送り / 早戻し中は音声が出力されません。
- 音声切替** ボタンで切り替えてください。(P.54)
- テレビや映像機器側の音量レベルを確認してください。
- 本製品を消音状態にしていないか確認してください。
- ケーブルを接続しなおして音声が出力されるか確認してください。
- 音声ケーブルが破損していないか確認してください。
- 対応していない音声が記録されているディスクでは、音声が出力されません。

字幕言語が切り替えられない

- 複数の字幕の入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.54)
- 字幕切替** ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.53)

字幕がでない

- 字幕が「オフ」になっている場合は、**字幕切替** ボタンで切り替えてください。(P.54)

アングルを変えて見ることができない

- 複数のアングルの入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.55)
- 複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えできます。(P.55)

メディアセンター

動画ファイルや音楽ファイルが再生できない

- 対応ファイル形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になります。

その他

仕様

画面サイズ	14V型
アスペクト比	16:9
画素数(水平×垂直)	1366×768
スピーカー	2W+2W
受信チャンネル	地上デジタル放送/ワンセグ放送 UHF(13～62ch) / VHF(1～12ch)/CATV(c13～c63)
対応ディスクフォーマット	DVD-VIDEO / DVD-VR(CPRM対応) / CD-DA / データDVD / データCD
対応ディスクタイプ	DVD-ROM / DVD±R / DVD±R DL / DVD±RW / CD-ROM / CD-R / CD-RW
対応ファイル形式	動画:MPEG1 / MPEG2 / MPEG4 音楽:MP3 / WAVE / FLAC / Ogg Vorbis 画像:JPEG / PNG / BMP 文書:TXT
対応入力信号(AV)	NTSC
対応入力信号(HDMI)	最大1920×1080(圧縮表示にて対応)
搭載端子	アンテナ入力端子(F型)×1、AV入力端子×1 USBポート×2(録画用×1/データ再生用×1)、 microSDカードスロット×1、HDMI入力端子×1、B-CASカードソケット (mini B-CASカード用) ×1、ヘッドホン用3.5mm音声出力端子×1 AV出力端子(DVDモード専用)×1、電源入力端子×1
電源(ACアダプタ)	入力:AC100V 50/60Hz 出力:DC12V/2A
電源(シガーアダプタ)	入力:DC12V/2A 出力:DC12V/2A
消費電力	最大18W(満充電待機時1W未満)
再生時間(バッテリー)	約2時間(テレビモード)/1時間50分(DVDモード)
充電時間(バッテリー)	約4時間
動作温度範囲	5℃～35℃
動作湿度範囲	20%～80%(結露なきこと)
外形寸法	W344×D38×H209 (mm)
重量	約1020g
保証期間	1年間

- ・対応ファイル形式は、すべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- ・再生時間(バッテリー)・充電時間(バッテリー)は目安であり、使用条件やバッテリー状況などの影響で異なります。

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00～12:00 / 13:00～17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266 (24 時間受付)
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階
ホームページ	https://www.green-house.co.jp/

- ・ 故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」や FAX でお問い合わせください。
- ・ お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
- ・ テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

- ・ 本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
- ・ 本製品は、日本国外では使用できません。
- ・ 本製品を日本国外で使用するによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
- ・ 本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
- ・ This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
- ・ This product can not be used outside Japan.
- ・ We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
- ・ We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。

※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口

テクニカルサポート

受付時間 10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土日祝日をのぞく弊社営業日)

テクニカルサポートダイヤル

03-5421-0580

FAX 03-5421-2266 (24時間受付)

故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。

グリーンハウスホームページ

<https://www.green-house.co.jp/>

GREEN HOUSE

株式会社グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5F

<https://www.green-house.co.jp>

Ver.1.0